

本人が物語風に綴る闘病記

44歳で甲状腺がんと中咽頭がんが見つかりましたが、  
中2の娘が「大したことないやん」と言うので。

著：原 利彦（1972年 生まれ）



甲状腺がん 発覚編 011：トモは強い、そして明るい。

2017年3月27日（月） 入院前日

トキの『がん』が発覚してからも今日まで、普通の日々が過ぎてきました。

ウタは全国大会で富山に行っているため、晩御飯はトモと二人きり。今しかない、トキは話を切り出しました。

「治療と今後のために、やれることは全てやる。やってはいけないことは全てやらない。それに協力してほしい。それでも、もしもの時は、頼むね」。

トモは「深刻過ぎる」と嫌いました。

トモは強い、そして明るい。トキには、トモのある意味、楽観的な部分も、ストレスのない面では必要だとわかっていました。トキにはない部分を持ち合わせているトモ。これから共に闘うことを強いられるトモ。



夜、トキのもとに両親が、いくつかのお守りを届けてくれました。その中の一つは大分県日田市にある高塚愛宕地藏尊のお数珠のブレスレットでした。これを肌身離さず、明日から、いよいよ、始まるのです。

⇒ 012：2か月の差でステージⅠ。